

(総括)

本市を取り巻く状況は、若年層の減少に伴う高齢化の急激な進展により、地域コミュニティに多大な影響を与えています。

社会福祉協議会は、社会福祉法に定められている地域福祉の推進を目的とする団体として地区社会福祉協議会、民生委員児童委員や福祉委員と連携し、見守り活動を推進するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる「地域共生社会」「相互支援」のまちづくりを目指し活動してきました。

昨年の7月豪雨は、高梁市に甚大な被害をもたらしました。そして、その後の度重なる台風接近により、被災者にとっては厳しい環境での生活を余儀なくされました。

このような中で、社協では災害ボランティアセンターを早々に設置し、全国からボランティアを受入れ、被災者支援に全力で取り組みました。

当社協の行動指針である「地域福祉活動計画」は、平成30年度末までとなっているため昨年6月から次期計画の策定に取組み、本年3月に平成31年度から5年間の「第2次地域福祉活動計画」が出来上がりました。

今後は、この計画を基に地域福祉の更なる推進に努めてまいります。

～地域福祉活動計画に基づく4つの基本目標の取組み～

①地域で活躍できる人づくり

7月豪雨災害のため、「ふれあい福祉講座」「夏のボランティア体験事業」は中止となりましたが、2月に開催の「ボランティア研修会」は、災害ボランティア活動をテーマとして、市との共催により開催しました。

②手と手をつなぐ地域づくり

福祉委員を市内全町内会から選出していただくよう協力依頼するとともに、地区担当職員を第2層協議体のコーディネーターとして配置し、地域資源の掘り起こし、課題の把握に努めました。また、「お助け隊」未設置地区に設置を進め、住民同士で支え合い助けあって暮らしていく地域づくりに取り組みました。

③地域を支える環境づくり

当社協活動のPRのため「ふれあい福祉」を年6回発行しました。また、生活困窮者支援として、自立相談支援事業に加え家計相談支援事業を開始しました。

④安心して暮らせる体制づくり

行政をはじめ関係機関と連携し、福祉サービス及び介護サービスの提供に努めるとともに、賛助会員会費等自主財源の確保のため、福祉委員総会欠席の町内会に出向き、制度の説明を行いました。

(執行体制)

1. 役員等 (平成31年3月31日現在)

役職名	人 数
会 長	1
副会長	2
理 事	12 (会長・副会長を含む)
監 事	2
評議員	25

2. 職員 (平成31年3月31日現在)

所 属	職員数	内 訳		
		正 職	内兼務	臨時職員
事務局	3	3		
総務課	7	5	1	3
地域福祉課	11	15	5	1
介護保険課	4	3		1
居宅介護支援事業所たかはし	2	2		
訪問介護事業所	3	6	3	※注1
訪問入浴事業所たかはし	4	1	1	4
巨瀬デイサービスセンター	3	5	5	3
有漢支所	2	1		1
成羽支所	4	2		2
グループホームささゆり苑	16	4	1	13
川上支所	2	2		
居宅介護支援事業所かわかみ	3	3		
川上デイサービスセンター	9	6	1	4
備中支所	2	2		
居宅介護支援事業所びっちゅう	3	3		
備中デイサービスセンター	11	5	1	7
合 計	89	68	18	39

※注1 訪問介護事業所 登録ヘルパー27名

[各事業の実施報告]

法人運営事業

1. 法人運営事業

予算額 162,455,000円

執行額 139,309,068円 執行率 85.7%

(1) 理事会、評議員会等の各種会議の開催（詳細別添参照）

①正副会長会 3回

②正副会長・支会長会 0回

③理事会 4回

④評議員会 3回

⑤各種委員会 10回

（総務企画委員会 3回、社会福祉委員会 4回、表彰選考委員会 1回、苦情解決第三者委員会 1回、総合福祉センター管理運営委員会 1回）

⑥支会運営委員会 8回

(2) 会員制度の広報、普及による自主財源の確保

福祉委員連絡会や広報紙等により会費の協力依頼や会費を財源とした事業説明を行い、会員制度の普及と充実に努めた。

<目標> 普通会員数6,700人

<実績> 普通会員数6,639人

	H30		H29	
	人数・件数	金額	人数・件数	金額
普通会員	6,639人	6,943,000円	6,680人	7,034,000円
法人会員	272件	864,000円	255件	837,352円
ふるさと会員	93人	352,500円	83人	303,000円
特別会員	8人	40,000円	9人	45,000円
合計	7,012人（件）	8,199,500円	7,027人（件）	8,219,352円

・有漢・成羽地区では件数が増加したが、7月の豪雨災害で被災した地域もあり、全体では目標に至らなかった。

(3) 職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施（詳細別添参照）

職員の意識改革及び人材育成のため、計画的な研修を企画実施した。

・計画的な職員の外部研修 6回（延べ10人）

・内部研修 1回

・内部監査の実施 1回

(4) 事務効率の向上及び経費節減のための事務改善等

各施設の電気契約の見直しを行い、経費節減を図った。

2. 企画広報事業

予算額 2,013,000円

執行額 1,713,960円 執行率 85.1%

社協の広報紙やホームページの他、福祉委員連絡会等の会議の場を活用し、社協の活動について広報を行った。また、新聞やケーブルテレビを活用しての情報発信に努めた。特に、災害ボランティアセンター等の活動については、何度も取り上げていただいた。

(1) 「ふれあい福祉」の発行

広報紙を発行し、市民へ社協の情報を発信した。

<目標> 年6回奇数月に発行

<実績>

発行月	主な内容
平成30年5月 (第79号)	平成30年度事業計画・予算、生活あんしんサポートセンター、赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業、私の町のふくし人 (Vol 13)、地域福祉活動報告、人事異動、お知らせ
平成30年7月 (第80号)	平成29年度決算報告及び実施事業、会費・寄附金財源事業、私の町のふくし人 (Vol 14)、お助け隊派遣事業、一般募金助成金交付、お知らせ
平成30年9月 (第81号)	高梁市災害ボランティアセンター活動報告、赤い羽根共同募金運動 お知らせ
平成30年11月 (第82号)	赤い羽根共同募金運動、各種表彰、賛助会員会費協力法人・ふるさと会員、敬老会、お知らせ
平成31年1月 (第83号)	新年のあいさつ、賛助会員会費、各種表彰、赤い羽根共同募金・法人募金、ふれあいサロン交流会、私の町のふくし人 (vol 15) 地域福祉活動報告、お知らせ
平成31年3月 (第84号)	ボランティア研修会、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金、地域福祉活動報告、私の町のふくし人 (Vol 16)、お知らせ

(2) ホームページの更新、充実

事業運営の透明性の向上と迅速な情報提供を行うため、積極的な活用と内容の充実に努めた。

(3) 社協会長表彰

地域社会福祉向上に顕著な功績があった個人に対し表彰を行った。

	H30	H29
個人 (人)	10	10
団体数	0	2

〈個人の部〉

表彰内容（所属団体名）	氏名
社会福祉団体功労（高倉地区遺族会）	下村 太助
社会福祉団体功労（備中地区福祉委員連絡会）	後内 久雄
社会福祉功労（高梁市社会福祉協議会理事）	山本 栄三
社会福祉施設功労（特別養護老人ホーム有漢荘）	細川真由美
社会福祉施設功労（特別養護老人ホーム有漢荘）	谷川 仁啓
社会福祉施設功労（特別養護老人ホーム有漢荘）	難波 仁美
社会福祉施設功労（特別養護老人ホームグリーンヒル順正）	中原 泰子
社会福祉施設功労（特別養護老人ホームグリーンヒル順正）	川上 静香
社会福祉施設功労（特別養護老人ホームグリーンヒル順正）	佐々木浩江
社会福祉施設功労（老人保健施設ゆうゆう村）	小梶 清美

〈団体の部〉

表彰内容	団体名
なし	

3. 地域における公益的な取組

○高梁市社会福祉法人連絡会（市内10法人で結成）

設立日 平成29年4月11日

- 実施事業
- ・生活困窮者緊急一時支援事業（通称：ライフサポート事業）
生活困窮者へ一定期間最低限の食料等の提供
 - ・引きこもりや障害者等の社会参加支援事業（通称：お仕事体験事業）
引きこもりや障害者、未就労の生活困窮者を対象に社会参加等の体験機会の提供
 - ・災害時避難場所提供事業の協力（通称：避難場所提供事業）
非常災害時に避難困難な高齢者や障害者等に一時避難場所を提供

- 実績
- ・ライフサポート事業 1件
 - ・お仕事体験事業 1件
 - ・避難場所提供事業 4件

○社会福祉協議会単独での公益的な取組

- ・日常生活用具貸出事業（9ページ参照）
- ・災害等見舞金支給事業（9ページ参照）
- ・福祉出前講座（11ページ参照）

地域福祉事業

1. 地域福祉活動事業

予算額 40,203,000円

執行額 38,202,093円 執行率 95.0%

(1) ふれあいのまちづくり事業

①福祉委員活動支援

○福祉委員の設置

地域の見守りや地域福祉課題解決を図るため、全町内会に福祉委員の設置に努めた。

<目標> 設置数 694町内会

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
町内会数	389	33	92	97	83	694	698
福祉委員数	392	33	92	97	84	698	695

○小地域福祉ネットワーク活動の推進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、ご近所見守りネット事業を地区社会福祉協議会単位で推進した。

・福祉委員連絡会

福祉委員の活動について「福祉委員活動の手引き」に基づき説明を行い、役割の明確化に努めるとともに、小地域福祉活動の推進について協力を依頼した。

・福祉委員連絡協議会

総合的かつ効果的な地域福祉活動を推進するため、福祉委員連絡協議会を開催し、連絡会相互の連携を図った。

平成30年 7月 6日（金）／高梁総合福祉センター／14名

平成31年 2月14日（木）／高梁総合福祉センター／13名

・ご近所見守りネット事業の推進

地区社協構成員が、定期的集まる機会をつくり見守り活動の推進に努めた。

・地区社協会長・福祉委員連絡会長視察研修会の開催

地区社協会長と福祉委員連絡会長の合同で開催することにより、相互の親睦を深めるとともに、先進的な地域活動事例を学び、各地区における小地域福祉活動の推進に努めた。

平成31年3月15日（金）／日野ボランティアネットワーク（鳥取県日野郡）

○福祉委員の活動支援

・福祉委員証を交付し、意識の高揚に努めた。

・ボランティア活動保険へ加入した。

・福祉委員活動を実施した町内会に対し、活動費を支給した。

②地区社会福祉協議会の支援

○地区社会福祉協議会の活動支援

地域に根ざした特徴的な地域福祉活動を推進するとともに、地域住民が相互に協力し、身近な困りごとの解決に向けた取り組みができるよう「お助け隊派遣事業」を推進した。

	H30	H29
交付地区社協数	14地区社協	14地区社協
交付金額	4,956,000円	5,504,000円

○地区社会福祉協議会会長会並びに役員連絡会議の開催

地区社会福祉協議会相互の意見交換等の場を設け、情報提供等を行い、市内全域における小地域福祉活動の活性化に努めた。

平成30年9月 1日（金）／高梁総合福祉センター／21名

(2) 地域福祉活動推進事業

①地域福祉活動計画の推進

安心して、いきいきと暮らせる地域社会を目指す地域福祉活動計画の推進に努めた。

また、第1次地域福祉活動計画の満期完了に伴い、第2次地域福祉活動計画を策定した。

○計画の理解と普及

福祉座談会で計画の主旨及び社協事業について説明するとともに住民ニーズの把握に努めた。

○計画の進捗管理と評価体制の整備

目標達成に向けて各事業を推進した。また、社会福祉委員会において評価を行った。

○事業成果の公表

各事業の実施状況について広報紙等で公表し、透明性を図った。

②福祉座談会（地域福祉活動事業）

社会福祉協議会活動の理解と地域課題に対応する事業展開のため、各地区で座談会を開催した。

<目標> 15地区で開催

<実績> 1月から2月にかけて市内14地区で開催した。

③ふれあい福祉講座

7月豪雨により、市内各地で甚大な被害を受けたため、開催を中止した。

<目標> 参加者800人

<実績>

	H30	H29
開催日	—	平成29年7月28日（金）
開催場所	—	高梁総合文化会館
参加人数	—	700人

④健康福祉のつどい

保健、医療、福祉、ボランティア活動に功勞のあった方々を顕彰するとともに、保健福祉の認識を一層深め、21世紀の高梁市のすべての人々が健康で心豊かに生活できるよう「心のつながりを大切に 支えあい助けあう 安心のまちづくり」を目的に市との共催により開催した。

	H30	H29
開催日	平成30年10月13日(土)	平成29年10月14日(土)
開催場所	高梁総合文化会館	高梁総合文化会館
参加人数	750人	1,000人

- ・社会福祉協議会会長表彰の実施

⑤県内外社協等との交流

視察を積極的に受入れ、地区社会福祉協議会間の情報交換により、小地域福祉活動の活性化に努めた。

- ・地区社会福祉協議会関係 2件

受入地区	来訪団体
松原地区社会福祉協議会	井原市県主地区社会福祉協議会
	新見市田治部地域振興福祉協議会

(3) 福祉活動助成事業

①ふれあいサロン事業

地域で安心していきいきと生活を送ることができる相互システムを身近な範囲に構築し、住民の福祉意識の向上を図った。

<目標> 助成件数130件

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
助成件数	73	10	16	23	13	135	125
内 5町内	—	—	—	—	—	—	110
内 大字単位	—	—	—	—	—	—	10
内 町単位	—	—	—	—	—	—	3
内 年4・5回	1	0	0	0	0	1	2
助成額	2,145,000	300,000	480,000	690,000	390,000	4,005,000	4,190,103

- ・ふれあいサロンのリーダー育成として、代表者交流会を行った。

平成30年12月7日(金) / 高梁総合文化会館 / 47団体49名

②福祉団体活動助成事業

市民で組織され、市内を活動範囲とする団体の運営費又は事業費の一部を助成し、活動の一層の活性化を図った。

③車両貸出

福祉団体等の活動に対して、自動車の貸し出しを行い、福祉活動の支援に努めた。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
貸出件数	24	2	1	2	2	31	30
内 サロン団体	15	0	0	0	1	16	12

(4) 老人福祉事業

①老人クラブ活動支援

高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの活動支援を行った。また、地域老人クラブの自主的な運営を支援した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
会員数	1,634	231	951	631	524	3,971	4,044
単位クラブ数	15	8	16	9	13	61	61

②日常生活用具貸出事業

虚弱な高齢者等へ、生活補助用具（特殊ベッド、車椅子）を無料で短期間貸し出した。

	H30			H29
	保有台数	延貸出件数	貸出可能台数	延貸出件数
特殊ベッド	20	33	9	38
車いす	44	36	41	67

(5) 障がい児・ひとり親・児童福祉事業

子育て家庭の親子等の仲間づくりや地域福祉活動、また、障害者スポーツ大会の支援を行った。

	H30	H29
障害者スポーツ大会等助成金支給件数	1	1
子育てサロン助成金支給件数	2	0

(6) 災害福祉活動事業

①災害等見舞金支給事業

自然災害・火災及び7月豪雨災害により、現に居住している住宅等の建物に被害を受けた世帯に対し見舞金を支給した。

	平成30年7月豪雨	H30	H29
災害見舞金支給件数	266件 高梁197、有漢2、成羽43 川上8、備中16	1件 (高梁)	1件 (高梁)
火災見舞金支給件数		2件 (高梁2)	9件 (高梁5、備中4)
死亡弔慰金支給件数		1件	0件

(7) 一般募金助成事業

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、住民自らが積極的に参加する福祉のまちづくりの活動を促すため、助成金を支給した。

○対象団体

高齢者・障害者・児童関係福祉団体、ボランティア団体、地域福祉活動団体等

○助成金の決定方法等

公募により団体を募り、社会福祉協議会理事会で審議した。

区分	H30		H29	
	件数	金額	件数	金額
高齢者、身体障害者等、児童活動助成金件数	18	786,000	20	955,000
ボランティア団体活動助成金件数	5	215,000	6	294,000
地域福祉活動助成金件数	14	1,633,000	14	1,761,000
計	37	2,634,000	40	3,010,000

(8) 歳末たすけあい支援事業

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、歳末たすけあい運動の趣旨に添った個人及び団体に対し慰問金又は助成金を支給した。

個人（慰問金）対象：在宅要介護者、難病者等

団体（助成金）対象：ボランティア団体、福祉団体

区分	H30		H29	
	件数	金額	件数	金額
在宅要介護者慰問金件数	158	948,000	166	996,000
難病者等慰問金件数	142	852,000	107	642,000
ボランティア団体、福祉団体活動助成（団体）件数	11	501,000	12	695,000
計	311	2,301,000	285	2,333,000

(9) ボランティアセンター活動事業

幅広い年代の社会参加を促すため、ボランティア学習、また、社会奉仕できる場や機会の提供を図り、人材の育成や発掘等に努め福祉教育を推進した。

①学童、生徒のボランティア活動普及事業

学童、生徒の社会福祉への関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養いボランティア活動の推進と啓発を図るため、小学校、中学校、高等学校の中からボランティア活動普及事業協力校に指定し、体験学習やボランティアの実践活動を行った。

<目標> 指定校10校

<実績>

- ・ 指定校10校 小学校／津川、川面、中井、松原、有漢東、有漢西、川上
中学校／高梁東、有漢、川上

(平成28年度から平成30年度の3年間指定)

②福祉出前講座

福祉の心を育てるため、ボランティア団体等と連携を図り、学校等に出向き福祉に関する講座（高齢者疑似体験、車椅子体験、手話体験等）を実施した。

<目標> 35回

<実績>

	H30	H29
高齢者疑似体験	6	6
車いす体験	3	6
手話体験	6	3
アイマスク体験	1	3
その他	5	7
計	21	25

③ボランティア育成

○ボランティア登録事務及び斡旋

ボランティア活動に興味のある個人又は団体にボランティアセンターへの登録を促しボランティア要望のある団体・施設等に斡旋を行った。

<目標> 108団体・個人35人

<実績>

登録状況	種別	H30登録者・団体数	H29登録者・団体数
	個人	21人	21人
団体	97団体 (2,911人)	96団体 (2,918人)	
	内 89団体 (1,393人) ボラ団体 8団体 (1,518人) 協力団体	内 89団体 (1,586人) ボラ団体 7団体 (1,332人) 協力団体	
相談斡旋	相談件数4件	相談件数4件	
	内 斡旋延件数 1団体 (学校他) 2人 (個人)	内 斡旋延件数 2団体 (学校他) 2人 (個人)	

○ボランティア研修会を開催し、活動の普及とボランティアリーダーの育成に努めた。

	開催日・場所	H30	H29
ボランティア研修会	平成31年2月21日 (木) 高梁市文化交流館	240人	180人

④福祉団体、ボランティア団体活動助成事業

・福祉活動、ボランティア活動を行う団体に対し、運営費・事業費の一部を助成することにより、活動の活性化を図った。

	H30	H29
福祉団体	0	0
ボランティア団体	2	2
計	2	2

- ・ボランティアセンター登録団体には、ボランティア活動保険料（150円/人）を助成した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
団体数	25	2	4	7	2	40	39
助成人数	1,116	53	36	32	55	1,292	1,300

⑤夏のボランティア体験事業の開催

7月豪雨により、市内各地で甚大な被害を受けたため、開催を中止した。

<目標> 参加者 250人

<実績>

事項	種別	H30	H29
事前研修会	開催日	—	平成29年7月17日（月）
	参加者	—	学生 222人
		—	受入施設 34人
体験活動	活動期間	—	7月から8月の夏休み期間中
	体験施設	—	市内44施設
		—	3ボランティア団体 1福祉団体
事後研修会	開催日	—	平成29年8月26日（土）
	参加者	—	学生 202人
		—	受入施設 22人

⑥高梁市災害ボランティアセンター

平成30年度7月豪雨の被害による災害復興支援の一環として、高梁市災害対策本部の要請を受け、高梁市災害ボランティアセンターを設置した。

- ・開設期間／平成30年7月9日～平成30年7月29日
- ・開設場所／高梁総合福祉センター
- ・ボランティア要請件数／172件
- ・ボランティア活動人数／延3,134人

⑦高梁市災害支援センター

被災者ニーズの変化に対応するため、高梁市災害ボランティアセンターを廃止し、高梁市災害支援センターを設置した。

- ・開設期間／平成30年8月1日～平成30年12月10日
- ・開設場所／高梁総合福祉センター
- ・ボランティア要請件数／31件
- ・ボランティア登録人数／54人
- ・ボランティア活動人数／延112人

⑧地域福祉活動基金

基金の果実をボランティアセンター活動事業に繰出し事業を実施した。

<地域福祉活動基金積立資産内訳>

	区 分	期 間	償 還 日	金 額	利率 (税引き前利回り)
①	定期預金	-	-	55,390,320	0.050%
②	定期預金	-	-	23,400,000	0.10%
③	利付国債	10年	2025/12/20	84,554,340	0.30%
④	利付国債	10年	2025/12/20	36,655,340	0.30%

・定期預金・国債の30年度利息 (基金総額200百万円)

定期預金利息 35,766円

国債利息 360,600円

2. 在宅福祉サービス事業

予算額 129,707,000円

執行額 126,437,774円 執行率 97.5%

(1) 敬老事業

①敬老事業

永年にわたり地域社会に貢献した高齢者の長寿を祝う敬老会の開催を支援した。

<目標> 敬老会開催数 60件

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
交付団体数	29	1	10	7	10	57	62
75歳以上人数	611	158	180	220	287	1,456	1,867
88歳人数	56	24	18	23	22	143	217
計	667	182	198	243	309	1,599	2,084
交付額	1,000,500	273,000	297,000	364,500	463,500	2,398,500	3,126,000

②敬老祝い品贈呈事業

福祉委員の協力を得て、永年にわたり地域の発展に尽力された米寿の方に記念品 (肖像写真) を贈呈した。

<目標> 贈呈率 80%

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
該当者数	198	28	57	40	31	354	344
贈呈者数	146	19	42	30	26	263	275
贈呈率	73.7%	67.9%	73.7%	75.0%	83.9%	74.3%	79.9%

(2) 高梁市福祉移送サービス事業

社会参加及び生活支援のためにドア・ツー・ドアによる移送サービスを行うとともに、安全運転に関する講習会等を開催し、安全運行に努めた。

○事業管理システムの活用

車両運行の効率化、事務の省力化を行うため、一元的な事業管理に努めた。

○移送車輛の更新

安全運行の確保のため軽四車輛（スロープ仕様4WD）1台の更新整備を行った。

○専門研修の開催

安全運転に関する講習会（2～3月）及び運転適性検査（3月）を実施した。

		高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
受講対象運転者数		19	5	7	17	18	66	72
受講者	交通安全講習会	14	3	5	14	10	46	39
	運転適性検査	3	2	2	3	7	17	25
	計	17	5	7	17	17	63	64

○高梁市福祉運転ボランティアの会及び各支部の事務支援

運転ボランティアの総会等の場で、相互の情報共有を図った。

<目標> 延利用者数 4,950回

運転ボランティア数70人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
移送車両数	9	3	3	4	6	25	25
運転ボランティア数	19	5	7	17	19	67	77
会員数	134	64	59	58	55	370	390
一般移送数（延）	417	407	185	223	179	1,411	1,560
透析移送数（延）	1,092	0	511	748	407	2,758	3,235
難病移送数（延）	16	5	0	0	4	25	54
移送利用計	1,525	412	696	971	590	4,194	4,849

(3) ちょこっとお助けサービス事業

日常生活を営むのに支障のある高齢者に支援員（シルバー人材センター会員）を派遣し、庭周辺の手入れ等、介護保険サービス以外のサービスを提供した。

<目標>年間利用実人数 44人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
利用対象者数	82	5	23	5	5	120	103
利用実人数	22	3	4	4	2	35	42
延利用人数	178	8	13	30	34	263	272

(4) 高梁市健やか高齢者生きがい支援事業

市からの委託により、介護予防、健康状態の確認や趣味活動のほか、保健指導を取り入れたサービスを提供するとともに、指定管理施設の適切な管理運営に努めた。

○デイサービスの実施

- ・ミニデイサービス：高梁地区の旧町等10ヶ所で実施
- ・生きがいデイサービス・備中高齢者生活福祉センターで実施

・生きがい対策デイサービス：川上いきいき交流館で実施

○指定管理施設の運営管理

・備中高齢者生活福祉センター、川上いきいき交流館

<目標>年間延利用人数

ミニデイサービス 2, 591人

生きがい(対策)デイサービス 2, 621人

<実績>

	高梁	川上	備中	H30	H29
実施回数	117	160	41	318	323
利用延人数	2,355	1,870	485	4,710	5,095

(5) 高梁市給食サービス事業

一人暮らしの高齢者及び障害者等で調理が困難な世帯に、宅配による食事の提供を行い、併せて配食ボランティアによる安否確認を実施した。

○高梁市民生委員児童委員協議会等関係機関と連携し、潜在的なニーズの把握に努め、未実施地区へ出向き事業の説明を行うなど、サービスの未実施地区の解消に努めた。

平成30年7月9日(月) 落合町原田地区サービス開始

<目標>延食数 32,000食

実利用人数 370人

配食ボランティア数 550人

<実績>

	高梁 週4回 月火木金	有漢 週1回 水	成羽 週3回 月水金	川上 週3回 月水金	備中 週1回 木	H30	H29
利用実人数	206	30	58	26	45	365	353
延食数	22,577	1,135	6,305	2,072	1,711	33,800	33,003
配食ボランティア数	266	70	26	148	55	565	567

(6) 高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業

寝具の衛生管理が困難な方に対し、年間2回、ふとん等の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行った。

また、居宅介護支援事業所などの関係機関と連携し広報活動を行った。

<目標>実利用人数 190人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H30
利用実人数	138	13	38	32	30	251	228
利用延件数	174	23	48	56	37	338	355

(7) 生活支援体制整備事業

市内14地区に設置した「第二層協議体」に、生活支援コーディネーターを配置し、資源開発、ネットワークの構築等を通じて、地域における生活支援・介護予防サービスの提

供体制の整備を図った。

(8) 遺族への援護

高梁市遺族連合会の事務支援を行った。

(9) 保健センター事業

川上保健センターの維持管理に努めた。

	H30		H29	
	件数	延利用者数	件数	延利用者数
健康相談、機能訓練等提供	49	580	51	679
子育て支援等交流事業実施	21	263	18	281
その他(老人クラブ等)	71	823	69	803
合計	141	1,666	138	1,763

3. 権利擁護事業

予算額 21,687,000円

執行額 18,791,348円 執行率 86.6%

(1) ふれあい相談事業

高齢者等の日常生活における心配ごと等について随時相談に応じ、適切な助言を行った。

随時相談(各社会福祉協議会事務所) 福祉総合相談

	H30	H29		H30	H29
開催回数	随時	随時	生 計	0	0
職業生業	1	6	住 宅	2	3
離 婚	0	1	医 療	0	2
家 族	4	6	生 活	1	0
教 育	0	0	そ の 他	10	38
人権法律	1	1	計	19	57

(2) 日常生活自立支援事業

認知症等により、金銭管理、福祉サービスの利用手続き等に不安がある方を対象に、生活に必要な預貯金の出し入れや福祉サービスの利用手続きなどの支援を行った。

利用に関する相談の対応や利用契約の締結までを専門員が行い、契約後は、各地域の生活支援員が利用者宅を訪問するなどして支援を行った。

○サービスの種類

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等預かりサービス

<目標> 実利用者数 15人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
利用実人数	5	1	1	0	3	10	13
支援員数	5	1	1	2	3	12	12

今年度は1人の新相契約があったものの、施設入所等で4人が契約終了となった。

(3) 高梁市生活あんしんサポートセンター事業

生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業等の関連事業の活用を図りながら、関係機関と連携を密にし、相談者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援に努めた。

○自立相談支援事業

経済的問題、健康問題、家庭問題等様々な問題を抱えてる方の相談に応じ、必要な支援を実施した。

	H30	H29
新規相談件数	17	24
支援プラン策定数	10 (再プラン2)	1 (再プラン0)

○家計相談支援事業

自立相談支援事業の利用者であって、家計に問題を抱えている方の相談に応じ、生活を早期に再生させるための必要な支援を実施した。

	H30	H29
支援プラン策定数	10 (再プラン2)	

(4) 生活福祉資金貸付事業

岡山県社会福祉協議会から事業を受託し、生計困難で必要な資金の融資を他から受けることができないことにより資金を必要とする方に、必要な資金の貸付・償還指導を行い自立更生の支援を行った。

	H30	H29
新規貸付件数	3	1
償還済件数	2	2
貸付中件数	8	7

(5) 福祉資金貸付事業

低所得者への資金の貸付（無利息）による自立支援及び償還指導を行った。

また、職員の専門性を発揮することにより、迅速な相談対応に努めた。

○資金種別

福祉資金貸付（貸付限度額10万円） 1件

（うち緊急小口貸付0件）

出生、死亡、疾病等一時的資金貸付（貸付限度額20万円） 1件

	H30	H29
新規貸付件数	2	2
償還済件数	2	8
貸付中件数	4	4

介護保険事業

予算額 213,698,000円

執行額 209,027,952円 執行率 97.8%

平成30年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が本格実施され、適正な介護保険サービスを提供していくために職員の資質向上を図るとともに運営体制の効率化を図った。

1. 居宅介護支援事業

要介護または要支援状態になった場合でも利用者が可能な限りその居宅において有する能力に応じた生活を営むことができるように、居宅サービス計画を作成し、利用するサービス類型の多様化に合わせて各サービス事業所等へ連絡調整を行った。

○特定事業所の運営（川上・備中）

○介護保険更新認定調査、介護予防支援ケアマネジメント、介護予防支援事業の実施

○介護支援専門員の資質の向上と質の高いサービス提供

<目標>

	高梁	川上	備中	H30
要介護支援延回数	730	1,200	1,200	3,130
予防介護延回数	123	72	48	243
ケアマネジメント延利用者数	12	12	12	36
認定調査数	46	55	72	173
計	911	1,339	1,332	3,582

<実績>

		高梁	川上	備中	H30	H29
要介護支援	実人数	70	111	116	297	325
	延回数	580	1,133	1,125	2,838	2,986
予防介護	実人数	13	10	5	28	35
	延回数	133	113	46	292	251
予防介護ケアマネジメント	実人数	0	1	5	6	5
	延回数	0	12	37	49	27
延回数計		713	1,258	1,208	3,179	3,264
介護認定調査	延回数	14	34	45	93	174

2. 訪問介護事業

訪問介護を希望する利用者に対して、訪問介護員が居宅を訪問し、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるようサービスの提供を行った。

○指定訪問介護

○障害者総合支援事業利用者へ居宅介護サービスの提供及び移動支援の提供
移動支援の利用者は無かった。

○訪問介護員の資質の向上

職員の専門性を高めるための研修会を各月開催し、サービスの向上に努めた。

<目標>

種類	利用延回数
介護保険 訪問介護	7,300
介護保険 予防介護	—
障害者総合支援 居宅介護	1,200
移動支援	0
計	8,500

<実績>

			H30	H29
介護保険	訪問介護	実人数	120	108
		延回数	6,467	7,059
	予防介護	実人数	0	22
		延回数	0	820
	延回数計		6,467	7,879
障害者総合支援 居宅介護	実人数	18	17	
	延回数	1,224	1,313	
移動支援	実人数	0	0	
	延回数	0	0	
延回数合計			7,691	9,192

3. 訪問入浴介護事業

住環境や健康状態により居宅での入浴が困難な利用者に対し、看護師・介護職員が入浴車で訪問し、入浴介護サービスの提供を行った。

<目標>

種類	利用延回数
介護保険 訪問入浴介護	350
障害者総合支援 訪問入浴介護	100
計	450

<実績>

			H30	H29
介護保険	訪問入浴	実人数	11	9
		延回数	239	214
	予防介護 訪問入浴	実人数	0	0
		延回数	0	0
	延回数計		239	214
障害者総合支援 居宅介護	実人数	2	2	
	延回数	62	79	
延回数合計			301	293

新規利用者はあったが、施設利用、入院の短期利用者で継続利用に繋がらなかった。

4. 通所介護事業

食事や入浴などの日常生活支援や機能低下を防止するための機能訓練、心身の活性化を図るため日常生活支援、日常動作訓練等の通所介護サービスの提供を行った。

- 市基準該当通所介護事業所巨瀬デイサービスセンターの運営
- 地域密着型通所介護事業所川上デイサービスセンターの運営
- 普通規模型通所介護事業所備中デイサービスセンターの運営
- 川上デイサービスセンター・備中デイサービスセンター：指定管理施設の運営管理
- 生活機能が低下しないよう個別のニーズに応える介護の提供

<目標>

	巨瀬	川上	備中	H30
通所介護 延人数	310	3,800	4,080	8,190
介護予防 延人数	—	—	—	—
障害者 延人数	0	0	36	36
計	310	3,800	4,116	8,226

<実績>

		巨瀬	川上	備中	H30	H29
定 員		20	18	30	68	68
開所日 (週)		1	5	5		
開所日数		42	243	238	523	533
通所 介護	利用実人数	5	51	62	118	143
	利用延人数	212	3,159	4,038	7,409	7,764
予防 介護	利用実人数	0	0	0	0	23
	利用延人数	0	0	0	0	581
障害者利用者数		0	0	47	47	38
利用延人数計		212	3,159	4,085	7,456	8,383

5. 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援1・2の方や基本チェックリストにより認められた方を対象に実施した。

(1) ミニホームヘルプサービス

訪問介護員が、買い物、調理、掃除、洗濯等の生活支援を行った。

<目標> 年間延時間数 337時間

<実績> 利用実人数 4人 203時間

(2) 総合事業ホームヘルプサービス

訪問介護員が、生活援助（食事の準備や調理など）、身体介護（食事や入浴、排泄の介助など）を行った。

<目標> 年間延利用者数 1,500人

<実績> 利用実人数 51人 利用延人数 2,303人

(3) 総合事業ミニデイサービス

ミニデイサービスにより、対象者への介護予防・生活支援サービスを行った。

<目標> 年間延利用者数 120人

<実績> 利用実人数 9人 利用延人数 63人

(4) 総合事業デイサービス

指定通所介護事業所で行う現行型で、対象者に介護予防通所サービスを行った。

<目標>

	高梁	川上	備中	H30
利用延人数	96	240	720	1,056

<実績>

	高梁	川上	備中	H30
利用実人数	1	11	34	46
利用延人数	34	457	899	1390

6. 認知症対応型共同生活介護事業

認知症状態にある利用者に対し共同生活を営む住居において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活や機能訓練等の必要な援助を行った。(ささゆり苑/定員9名)

○地域密着型施設として地域社会とのつながりを含めた利用者にとってゆったりとした空間で穏やかに馴染みのある暮らしを目指した。

○看護師の定期的な派遣による健康管理を行った。

○介護職員の専門性を高めるため研修会へ参加し、質の高い介護サービス提供に努めた。

<目標> 利用定員9人の維持

<実績>

	H30	H29
定員	9	9
利用実人員	11	11
延利用者数	3,181	3,215

公益事業

1. シルバー人材センター事業

予算額 87,053,000円

執行額 71,520,430円 執行率 82.1%

働く意欲のある高齢者に、知識や経験、技術を活かした臨時的かつ短期的な仕事、又はその他の軽易な仕事を提供した。

<目標>登録会員数305人

延受注件数1,900件

延就労人員19,210人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H30	H29
会員数	98	26	40	51	39	254	273
延受注件数	1,073	102	216	136	73	1,600	1,772
延就労人員	5,475	1,253	1,162	3,488	1,992	13,370	15,232

○会員確保への取り組み

- ・平成30年10月2日(火) アクティブシニア就職・生涯現役セミナーin高梁への参加
- ・シルバー人材センター啓発用グッズ及びチラシの配布(地域市民センター等)

○会員数は、新規登録があったものの会員の高齢化等により退会も多く減少傾向である。

○職群班の円滑な運用

班会議や班長会議にて、シルバー人材センターのしおり等を活用し、情報の共有を図った。

○安全管理の推進

会員の安全就労に対する自己管理意識の高揚と安全適正就労の推進を図るため、安全・適正就労パトロールを実施した。(岡山県シルバー人材センター連合会と合同実施)

- ・平成30年10月18日(木) 安全・適正就業パトロール 現場指導3名

2. 総合福祉センター運営管理

予算額 17,720,000円

執行額 16,707,350円 執行率 94.3%

高齢者、障害者等及び福祉団体、ボランティア団体等の活動拠点として、また、市民の方々の教養の場として貸館業務を行った。

○高梁総合福祉センター管理運営（竣工 昭和51年3月20日）

○成羽福祉センター管理運営（竣工 平成2年3月20日）

	高梁	成羽	H30	H29
利用件数	937	304	1,241	1,184
延利用者数	18,343	5,268	23,611	22,704

施設の維持や適切な管理運営を図るため、管理運営委員会を開催した。

なお、本年度については、7月6日～7日の豪雨災害及び7月28日の台風12号接近に伴い、高梁総合福祉センターを避難所として開放。また、災害ボランティアセンターとして災害対応の要の施設として活用した。

1. 理事会、評議員会等の各種会議の開催状況

(1) 正副会長会

第1回	平成30年	5月21日	高梁総合福祉センター	出席役員:	3人
第2回	平成30年	12月14日	高梁総合福祉センター	出席役員:	3人
第3回	平成31年	3月5日	高梁総合福祉センター	出席役員:	3人

(2) 会長・副会長・支会長会議

なし

(3) 理事会

第1回	平成30年	5月28日	高梁総合福祉センター	出席役員:	13人
第2回	平成30年	9月6日	高梁総合福祉センター	出席役員:	13人
第3回	平成30年	12月9日	高梁総合福祉センター	出席役員:	12人
第4回	平成31年	3月20日	高梁総合福祉センター	出席役員:	12人

(4) 評議員会

第1回	平成30年	6月14日	高梁総合福祉センター	出席者:	20人
第2回	平成30年	12月26日	高梁総合福祉センター	出席者:	19人
第3回	平成31年	3月27日	高梁総合福祉センター	出席者:	21人

(5) 委員会

・総務企画委員会

第1回	平成30年	5月16日	高梁総合福祉センター	出席委員:	13人
第2回	平成30年	12月4日	高梁総合福祉センター	出席委員:	16人
第3回	平成31年	3月1日	高梁総合福祉センター	出席委員:	16人

・社会福祉委員会

第1回	平成30年	5月16日	高梁総合福祉センター	出席委員:	15人
第2回	平成30年	9月21日	高梁総合福祉センター	出席委員:	13人
第3回	平成30年	12月4日	高梁総合福祉センター	出席委員:	16人
第4回	平成31年	3月1日	高梁総合福祉センター	出席委員:	15人

・表彰選考委員会

平成30年	9月6日	高梁総合福祉センター	出席委員:	6人
-------	------	------------	-------	----

・高梁市総合福祉センター管理運営委員会

平成30年	9月26日	高梁総合福祉センター	出席委員:	7人
-------	-------	------------	-------	----

・苦情解決第三者委員会

平成30年	10月4日	高梁総合福祉センター	出席委員:	3人
-------	-------	------------	-------	----

(6) 支会運営委員会

・高梁支会

・有漢支会

第1回 平成30年 4月 7日 有漢保健センター 出席委員： 6人

第2回 平成31年 3月11日 有漢保健センター 出席委員： 6人

・成羽支会

第1回 平成30年 5月14日 成羽福祉センター 出席委員： 6人

・川上支会

第1回 平成30年 5月24日 川上保健センター 出席委員： 5人

第2回 平成31年 3月14日 川上保健センター 出席委員： 5人

・備中支会

第1回 平成30年 5月23日 備中支所 出席委員： 3人

第2回 平成31年 3月13日 備中支所 出席委員： 5人

2. 監事による監査

第1回 平成30年 5月 9日 高梁総合福祉センター 出席監事： 2人

第2回 平成30年11月22日 高梁総合福祉センター 出席監事： 2人

3. 職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施状況

(1) 計画的な職員研修

① 専門研修

・ 人事・労務管理研修 参加者 1名

期日：平成30年6月（1日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・ 会計職員実務研修会 参加者 2名

期日：平成30年6月（1日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・ 岡山県福祉職員生涯研修会（チームリーダーコース） 参加者 1名

期日：平成30年7月（2日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・ 岡山県福祉職員生涯研修会（管理コース） 参加者 3名

期日：平成30年8月（2日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・ 人材育成体系構築・推進研修 参加者 1名

期日：平成30年9月（2日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

- ・岡山県福祉職員生涯研修会（初任者コース） 参加者 2名
期日：平成30年10月（2日間）
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・内部研修会（全職員対象） 参加者42名
期日：平成31年3月（半日間）

②内部監査の実施

関係法令及び経理規程に基づく会計処理、前年度の指摘事項の改善状況について行った。特に、未収金、未払金の処理等出納処理状況、各種支払に係る経理、備品管理状況に重点を置いて実施した。

実施日：平成30年9月10日 総務課、地域福祉課
9月11日 有漢支所
9月12日 備中支所
9月13日 川上支所
9月14日 介護保険課、地域福祉課
9月18日 成羽支所、ささゆり苑
9月19日 介護保険課、巨瀬デイサービスセンター
9月20日 地域福祉課